

11月4日スタート！

美浜町健康支援あいあいアプリ に新機能を追加します！



町では、健康的な生活習慣の定着や高齢者の社会参加・生きがいづくりを目的に「美浜町地域あいあいポイント」事業に取り組んでおり、自分の健康管理やポイントを効率的に貯めることができる「美浜町健康支援あいあいアプリ」を配信しています。今回新たに3つの機能を追加しましたので、ぜひご利用ください。

新機能①

アプリ内で貯まったポイントが、はぴコインに交換できるようになります



これまでウォーキング等で貯めたポイントを、クーポン券だけでなく、はまサイフで使えるはぴコインにも交換できるようになります。

<操作方法>

1. トップ画面の右下の「ポイント」をタップ
2. 「ポイント交換」をタップ
3. 右図の画面でクーポン券または、はぴコインどちらかを選択し「交換する」をタップ
4. はぴコインへ変換を選択した場合、次画面でふくアプリの登録時に設定した電話番号等必要事項を入力し、交換が完了します。

- ※はぴコインと交換する場合は、あらかじめ、ふくアプリをインストールし、「美し浜サイフ」の追加をお願いします。
- ※交換したはぴコインは、交換した翌週に付与されます。即時で付与されませんので、ご注意ください。



新機能②

アプリで体重と血圧の記録ができるようになります



自分で測定した結果を記録し、より健康管理がしやすくなります。

<操作方法>

1. トップ画面の右上にあるメニューをタップ
2. メニューの中の「グラフ（歩数・体重・血圧）」をタップ
3. 右図の画面に切り替わってから測定値を入力
4. 入力後、自動的にグラフに数値が反映されます。



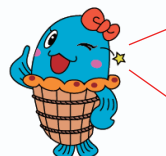
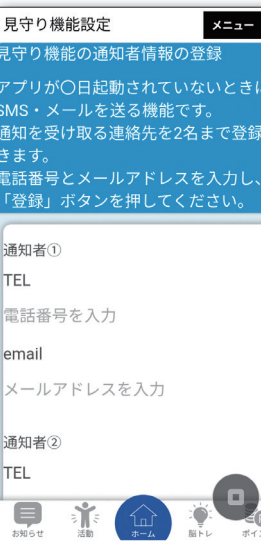
新機能③

高齢者見守り機能（※）が追加されました ※一人暮らしの60歳以上対象

自分で設定した期間、あいあいアプリの起動がされなかった際に、設定した相手に通知ができるようになります。

<操作方法>

1. トップ画面の右上にあるメニューから「高齢者見守り設定」をタップ。
2. 通知相手への通知するタイミング（あいあいアプリの起動がない期間）を設定する。
3. 通知者の電話番号またはメールアドレスを入力する。
※通知者は2人まで登録可能です。
4. 最後に登録ボタンをタップして、設定が完了します。



まだ登録をされていない方は、この機会に登録し、健康づくりのきっかけにしてください。



アプリのインストールはこちら

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・中西) ☎32-6704

美浜町×LINE

公式LINEで暮らしを便利に

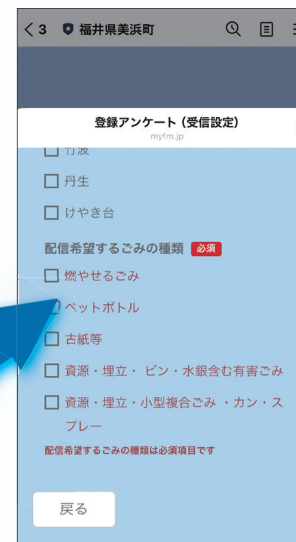
公式LINE 機能紹介 Vol.3



町公式LINEの友だち追加はこちら

つつい忘れがちなごみの日

ごみ出しアラートで忘れずごみ出し



トップ画面から受信設定画面へ

月1、2回のペットボトルや缶の収集日を忘れてしまい、ごみ出しを忘れた経験はありませんか。「ごみ出しアラート」機能では、収集日知りたいごみの種類や地域を設定することで、ごみの収集日前日の午後6時にメッセージでお知らせします。

<操作方法>

1. 公式LINEの友だち登録時またはメインメニューの「受信設定」をタップ
2. ごみの収集地域と配信を希望するごみの種類にチェックを入れて、「送信」をタップして完了です。

子育てに関わる予約が公式LINEで

公式LINEでは、「母子健康手帳の受け取り予約」と「子育て相談」の予約ができます。

<操作方法>

1. 公式LINEのリッチメニューにある“おすすめメニュー”から「予約・チケット購入」をタップ
2. 配信されるメッセージから対象となる予約を選択し、予約ページでは、日程や都合のよい時間帯を選択して完了です。

予約ページから、空いている日にちや時間を確認し、24時間いつでも、予約が可能です。また、予約日の前日には、リマインドメッセージも配信してお知らせしますので、お気軽にご利用ください。



公式LINEの画面と予約ページ

登録キャンペーンがまもなく終了します



町の公式LINEを友だち登録して申し込まれた方全員に、はぴコイン500ポイントをプレゼントする「美浜町公式LINE友だち登録キャンペーン」が、令和7年12月31日で終了します。まだ、友だち登録をされていない方やお申し込みをされていない方は、お早めにご登録をお願いします。

お急ぎください！

※お問い合わせ先
町まちづくり推進課
DX推進室(担当・伊藤／稗田) ☎32-6701

↓ 小学 1・2 年生の部で勢いよくスタートする児童たち



仲間の思いをたすきでつなぐ 第6回Mihama Ekiden Festival

10 月 11 日に、第 6 回 Mihama Ekiden Festival が総合運動公園で行われました。

この催しは、駅伝競技を通した小中学生の健全育成や中長距離・駅伝競技の普及等を目的とし、町のスポーツ協会が開催したものです。

当日は町内外の小中学生 20 チーム約 70 人が参加し、児童生徒たちは、熱いレースを繰り広げていました。

↓ 献花をする参列者たち



恒久平和の実現に向けて 戦没者追悼式

10 月 15 日に、戦没者追悼式がはあとびあで行われました。

追悼式は、戦没者の追悼と平和社会を次世代へ継承することを目的に開催され、約 90 人が参列しました。

町遺族会の石丸会長は「戦後 80 年が経ち、戦争の記憶が希薄化する中、多くの尊い犠牲の上に今の平和と繁栄があることを忘れず行動したい」と述べていました。

↓ 第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会に出場した選手の皆さん



ねんりんピック岐阜 2025 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会出場

10 月 14 日に、第 37 回全国健康福祉祭ぎふ大会の激励会が町役場で行われました。

同大会は、10 月 18 日から 21 日に岐阜県内各所で開催され、本町からはゲートボールに 5 人、ラグビーフットボールに 1 人が県代表として出場しました。

激励会で戸嶋町長は「日ごろの成果を十分に発揮し、頑張ってきてください」と述べていました。

↓ 米寿の記念に戸嶋町長と記念写真を撮る田邊彦左衛門さん（左）



これからもお元気で！ すこやか長寿者訪問

10 月 16 日と 17 日に、戸嶋町長が町内の 88 歳（米寿）と 99 歳（白寿）以上の方を対象に訪問をしました。

今年、町内で米寿を迎えられる方は 78 人で、白寿以上の方は 18 人となっています。

米寿を迎えられた田邊彦左衛門氏宅（坂尻）を訪問した戸嶋町長は「これからもお元気に長生きを」と言葉をかけ、長寿を祝うとともに、記念品を贈呈しました。

↓ 4 × 100m リレーの決勝でバトンをつなぐ児童たち



練習の成果を発揮 美浜町小学校陸上運動発表会

10 月 8 日に、美浜町小学校陸上運動発表会が美浜中央小学校グラウンドで開催されました。

発表会では、町内 3 つの小学校の児童が 100m 走や走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ、長距離走、リレーの競技に出場しました。

児童たちは、自己ベストの更新を目指し、練習の成果を存分に発揮していました。

↓ 仲間と息を合わせてゴールを目指す生徒たち



優勝を目指して一致団結 美浜中学校体育祭

9 月 20 日に、美浜中学校の体育祭が同校グラウンドで開催されました。

今体育祭から、熱中症対策として半日で行われ、生徒たちはこれまで練習を重ねてきた応援合戦や、代表リレーのほか、綱引き等の種目を行い、得点を競いました。

生徒たちは、体育祭を楽しみつつ、競技等を全力で取り組み、優勝を目指して熱戦を繰り広げていました。

↓ 久々子湖沿いのごみを町民と一緒に拾うラグビーチーム伏見クラブ（京都府）の子どもたち



湖をいつまでも美しく 三方五湖一斉清掃

9 月 21 日に、三方五湖一斉清掃が行われました。この活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が開催したもので、町内外の団体や企業等 15 団体、約 150 人が参加しました。

参加者は、久々子湖や日向湖等の周辺道路・側溝等に落ちているごみを拾い集め、可燃ごみや不燃ごみ等、軽トラック約 2 台分を収集しました。



まちウォッチング
atching



↑ Kaiの授業サポーターとともにキックオフ！

放課後教室サンでは、地域を舞台に実践する学びを舞台に小学5年生・中学1年生が混ざったチームで挑戦する「商品開発プロジェクト」が9月からスタートしました。このプロジェクトは、企画から販売まで、子どもたち自身が主体的に取り組む実践型の学びと挑戦の場です。自ら手を挙げて集まった14名が互いに意見を出し合い協力し、地域の大人と関わる中で学びを深めています。11月のイベント出店に向けて、熱心に準備を進めています。



↑ イチジク収穫体験の様子



上村佳和さん
(河原市)
放課後教室サンに通う、美浜中央小5年生。今回のプロジェクト最年少参加者。

この活動では、学びコミュニティ Kai の高校生が授業サポーターとして子どもたちの学びを後押ししています。活動のテーマとなったのは「イチジク」。農家の今安さんの協力のもと、収穫体験やインタビューを行いました。イチジクに初めて触れたり食べたりする子どもも多く、「もっと知りたい」「この魅力を知りたい」との声が上がりました。農家の方の思いや工夫に触れ、商品開発へのアイデアを膨らませていました。地域の大人と交流し学びを深める子どもたちの姿はとも頼もしく、これからの活動がますます楽しみです。



新たな美浜の名物誕生！？

11/22(土)子どもたちがイチジクで新商品を作り販売します。家族みんなで遊びに来てね！



教育・まちづくりについて感じたことを教えてください。左記二次元コードからアンケートにご協力をお願いいたします。今後の参考とさせていただきます。

お問い合わせ

放課後教室サン
学びコミュニティ Kai ☎ 050-5482-3342
(担当：和田)

まちづくり推進課
シナプスプロジェクト推進室 ☎ 32-6701
(担当：久木)



WEB



INSTAGRAM



YOUTUBE

みはまシナプスプロジェクトって？

JR美浜駅～なびあすを舞台に、3つのテーマをもとに「美浜らしいにぎわい」を育てるプロジェクトが進行中。

- 1 学びと挑戦を育む "人づくり"
- 2 優しい回遊空間を創る "空間づくり"
- 3 共創の軸線を貫く "コンテンツづくり"

サンやKaiの活動も"人づくり"の一環。町の未来を、みんなで少しずつ形にしていきたいと思います！



SYNAPSE
みはまシナプスプロジェクト

町民の声 Voice



イチジク農家の
今安亮介さん
(和田)

イチジクや農業に関心を持ってくれてとても嬉しかったです。子どもたちが積極的に質問し、自分の言葉で学ぼうとする姿に驚きました。加工品が少ないイチジクを、子どもならではの発想で新商品が生まれることを楽しみにしています。

フリーコーナー Free Space

教室を飛び出し 新たな挑戦



↑ 見て聞いて体験して、ワクワクした1日

普段の授業では味わえず、今まで体験したことがない「商品開発」に挑戦したくてプロジェクトに参加しました。イチジクの収穫では「イチジクの食べる部分は花がたくさん集まったもの」という今安さんの話やこだわり、イチジクの甘さにとっても感動しました。最初

★トピックス

国重要文化財旧三笠ホテルがリニューアルオープンしました

10月1日に、長野県軽井沢町にある国重要文化財・旧三笠ホテルがリニューアルオープンし、戸嶋町長が記念式典に出席しました。

同ホテルは、佐柿にゆかりのある実業家山本直良氏が明治38年(1905)に竣工し、翌年に開業しました。今回、竣工から120年が経過した建物の保存修理等が行われ、軽井沢の文化を担う拠点として整備されました。

町では、記念式典に合わせ5日間「美浜と軽井沢の不思議なご縁」展を開催し、町の観光PRも併せて行いました。



↑ 町のPRを行う戸嶋町長(中央)

北海道八雲町開町20年記念式典に町長が出席しました



↑ 式典で挨拶をする岩村八雲町長

10月5日に、北海道八雲町の開町20年記念式典が同町で行われ、戸嶋町長が来賓として出席しました。

町では、全国の市町村の食材を活用したご当地居酒屋を運営する株式会社 funfunction を通じて、北海道八雲町や北海道厚岸町、長崎県小値賀町、高知県芸西村と「ふるさと合邦国サミット」を結成し、観光や産業の連携・情報共有を進めています。

また、八雲町は、当町の町制施行70周年記念式典やイベントに参加いただいております。町は今後も、サミットを通じてさらなる交流を深め、連携を強化していきます。

国民スポーツ大会 ローイング競技 天皇杯10連覇達成

10月4日から7日にかけて、滋賀県大津市の関西みらいローイングセンターで、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025」のローイング競技が開催されました。

競技には県代表12クルーが出場し、成年女子舵手付きクオドルプルと少年女子舵手付きクオドルプルで優勝、成年男子舵手付きクオドルプルと少年男子ダブルスカルで準優勝したほか、6クルーが入賞しました。

県勢は、総合得点203点を獲得し、前人未踏の競技別天皇杯(男女総合優勝)10連覇を達成。また、競技別皇后杯(女子総合優勝)でも8連覇を達成しました。



↑ ローイング競技に出場した県選手団